

防災計画は、災害のときに本当に機能するのだろうか。



山口勝士が問う

住民とつくる安心の防災対策を

災害に対して行政から、地域へのどんな働きかけが大切か。

防災地域支援課長 「避難行動要支援者名簿」を活用し、日ごろより住民同士の顔の見える関係をつくるなど、地域の防災力を高めておくことが重要と考えます。

災害時の上下水での混乱の想定、例えば水の供給はどう実施されていくのか。

防災地域支援課長 医療機関等の重要給水施設に優先的に搬送給水を行います。



大きな災害のたびに見直しが行なわれている「小川町地域防災計画」。

地域の集会所が「土砂災害警戒区域」のため、離れた町施設への避難になる地域の方々に対して、その不安解消への手立てなど話し合われているのか。

防災地域支援課長 地域の方からは、「区民センターや町施設以外の避難場所の確保ができないか」という話も寄せられています。地域の皆さんの不安を解消するため、どのようにしたらよいか、今後考えていきます。

公共施設の総延べ床面積の53%は学校教育施設です。



田中照子が問う

当町公共施設等の現状と計画は

学校施設等再編に向けての予定と地域住民への説明会での意見要望は。

学校教育課長 「学校再編等審議会条例」を制定し、年度内を目標に審議会を立ち上げます。当審議会に学校再編を諮問し答申後は、総合教育会議及び教育委員会です学校再編計画を策定します。説明会での意見・要望は、多くは学校再編を早く進めるべきと考えます。また、再編に伴い発生する通学等(スクールバス等)に関する質問・要望等がありました。

下水道整備計画の区域見直しで削減される経費は。

上下水道課長 全体計画697ヘクタールのうち、約68%を平成32年度までに整備予定です。残り32%は国が要請する平成37年度までに完成することは、財政・期間的に厳しい状況です。計画区域を縮小する場合は27億円程度の経費削減が図られると見込んでいます。

公営住宅の3カ所について入居募集を停止しているが、今後の予定は。

都市政策課長 3団地は、築年数が60年を超過し老朽化が著しいため、今後も新規に入居募集をかける予定や町営住宅として建てかえる計画もありません。跡地については公共用地として、活用もしくは売却を図っていきたく考えています。



昭和30年代築の老朽化した町営住宅。

何とかしたいね、この道路。



大戸久一が問う

市街化区域内道路の優先整備を

下小川一区内東上線南側地区は、市街地形成を促進すべき市街化区域でありながら、道幅が狭く緊急車両の通行ができない。高齢者や要介護者も現住するこの地域の安全・安心のため、また長年都市計画税を納めている住民への公平性からも優先的に道路整備をすべきでは。

建設課長ほか 地権者の協力が得られ、地域の機運が高まるのが必須です。さらに合意形成がなされ要望があった場合には、必要性・緊急性・公益性や財政状況により、総合的に判断していきます。

市街化区域に隣接し、道路・給排水整備が整っている地域に都市計画法34条11号指定をすることにより、多くの分譲住宅建設も可能となる。この手法を用いた人口減対策を滑川町等の近隣市町で行なっている。少子化対策、人口増への特効薬となり得る区域指定をすべきでは。

都市政策課長 当町における都市計画の方針や、埼玉県の「まちづくり埼玉プラン」における県内11号区域の縮小を進める計画に整合しないものになると考えています。現在コンパクトなまちづくりとなる立地適正化計画を策定中です。これを主軸に将来のまちづくりにおける手法・課題等を整理しているところです。



道幅の狭い市街化区域内未整備道路。

背に腹はかえられないが、陸橋補強ってわかりすぎ。



(M・Sさん・79歳)



橋上については、さまざまな視点から検討し、住民の今後の負担にならないことが大切。

(Y・Sさん・60代)



駅北口は本当にできるの？

(Y・Kさん・44歳)



小川高校の安全のためにも、早く北口通路をお願いします。

(T・Kさん・52歳)

Mini Column
オガワマチのことギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「89号特集について感じたこと」